

【臨床研究実施計画書】（様式2）

<b>1. 課題名</b> 中小規模病院における医療安全に関する理解と実践に向けた意識変革の試み
<b>2. 申請者（研究責任者）</b> 所属： 医療安全対策室 職名： 看護師 氏名： 上岡 佳代
<b>3. 研究分担者</b> 所属と氏名： 総務課・横山 敏幸
<b>4. 個人情報管理責任者</b> 所属： 医療安全対策室 職名： 看護師 氏名： 上岡 佳代
<b>5. 実施場所</b> 広瀬病院
<b>6. 対象症例期間</b> 承認されてから3年間
<b>7. 研究費</b> ■ 院内経費                      □ 公的研究費                      □ その他（                      ）
<b>8. 共同研究機関及び氏名</b> なし
<b>9. 研究意義・目的</b> マンパワーの限られる中小規模の医療機関では、全職員の医療安全に関する知識や情報の共有、協力が極めて重要になる。当院は、令和2年4月に医療安全対策室を設置した。ここでは、インシデントやアクシデントの解析のみならず、職員一人一人が医療安全に関して意識を向上させるように種々の院内活動を行っている。 本研究の目標は、これらの院内活動によって、職員の医療安全に関する理解と実践に対する意識がどのように変化したかを把握し、今後の医療安全活動に生かしていくことにある。

## 10. 研究方法

広瀬病院の全職員に対して、医療安全に関する以下の項目のアンケート調査をおこなう。

- ① 2年間で医療安全に対する意識の変化があった。
- ② 職場全体で医療安全に対する意識の変化があった。
- ③ 職場全体での医療安全に対する対策は2年前より改善された。
- ④ 自分のミスについて職種・上下関係なく言えるようになった。
- ⑤ 他部署のミスについて職種・上下関係なく言えるようになった。
- ⑥ 改善や対応について職種・上下関係なく言えるようになった。
- ⑦ 職場全体での安全を守ることに気を配るようになった。
- ⑧ 医療安全に関わる問題は速やかに改善されるようになった。
- ⑨ 医療事故が起きた時再発防止策を部署内できちんと話し合うようになった。
- ⑩ 医療事故防止のための取り組みに現場スタッフの意見が反映されるようになった。
- ⑪ 医療事故の防止に役立つアイデアを積極的に提案するようになった。
- ⑫ 医療事故防止につながる物品を積極的に採用するようになった。

回答は、とてもそう思う（5点）、まあそう思う（4点）、どちらでもない（3点）、あまりそう思わない（2点）、全くそう思わない（1点）で答えてもらい、点数化して統計処理をおこなう。

それらの結果を基に、広瀬病院全職員の医療安全に対する意識変化を解析する。

## 11. 倫理的配慮

### (1) 個人情報の保護

匿名化をおこない、学会や論文発表等をおこなっても個人が特定できないようにする。

### (2) 研究対象者に生じる不利益及び危険性

匿名化された職員へのアンケート調査のため、研究対象者に生じる不利益及び危険性はないと考えられる。

### (3) インフォームドコンセント、オプトアウト、その他

職員に対するアンケート調査のため、インフォームドコンセントやオプトアウトは必要ないが、研究内容に関しては広瀬病院のホームページで公開する。

## 12. 利益相反

なし。

## 13. 特記事項

なし

2022年 7月 日 所属部署 医療安全対策室 氏名 上岡 佳代 印